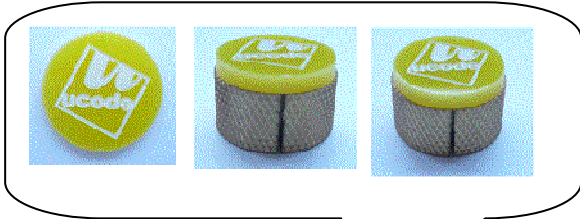


国土地理院実施の基準点現況調査事業で

当社の IC タグが採用されました!!!

○今年度全国の利用頻度の高い基準点の現況調査を行い、その標石基準点に IC タグ 2 万個を敷設する作業に使用されるものです。



今回採用された標石基準点に
敷設される IC タグ

(寸法 $\phi 15 \times 10 \text{ mm}$)



○先月末より全国の地方測量部より今回の作業に関する入札が公開されております。

今回の作業ではすでに埋石されている御影石製の標石基準点に現地で穴を開け「IC タグ」を埋め込むという作業です。御影石は長年雨風に曝されている為、割れやすくなっております。そこでコノエでは石のツールから調査し今回の最適ビットを準備致しました。

○コノエの基準点現況調査 専用・最適ビットセットがお役に立ちます。

国土地理院の標石基準点は明治以来、香川県の小豆島産の石が使用されております。瀬戸内の温暖な地区で採れる石に最適角度を掻き上げスパイラルを持ち作業性、仕上がり、割れ難い等の特徴を持っております。

『コノエの基準点現況調査 専用・最適ドリルセット』

- ① コノエ推奨の充電式ドリル 軽量コンパクト、操作は簡単。
- ② 標石基準点の穴あけに最適なドリルビットを選定 (5本入り)
- ③ 専用深さゲージ
- ④ 専用スポイド (穴あけした後の粉じんを吹き飛ばすことができます)
- ⑤ シリコン樹脂「東レ・ダウコーニング株の建築用シーリング材 SE960」1本
- ⑥ ウェス材 (拭き取り用・ビニール付き)